

平成24年12月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 12月は、11月に引き続き、東区と早良区で発見・駆除されているほか、城南区で新たに発見・駆除されている。
発見・駆除数とも東区が最も多いという傾向に変化はない。
また、11月に発見・駆除されていた中央区での発見・駆除は報告されていない。
2. 城南区の1件は、城南区内で初めての発見となる。
個体数が少ないこと、また発見場所の周辺調査で、新たな発見がなかったことから、発見場所は今のところ限定的であると考えられる。
3. 早良区の1件は、10、11月に発見・駆除された場所から大幅に離れた場所であることから、何らかの要因で運ばれたセアカゴケグモがスポット的に発見されたものと推測される。
4. 以下のような状況から成体数の減少については、季節変化に伴うものや定期的・計画的な駆除による効果が考えられる。
 - (1) 12月は11月に比べ発見・通報に伴う駆除件数、駆除数とも減少している。
 - (2) 12月はセアカゴケグモの駆除数が11月に比べ47%、10月に比べ58%、9月に比べ73%減少している。
 - (3) 12月は43件の定期的・計画的な調査・駆除を行ったが、うち18件でセアカゴケグモは発見されなかった。
5. 卵のう数の減少については、12月は11月に比べ55%減少しており、季節変化に伴うものや成体の駆除による効果が考えられる。